

協会けんぽ山形支部からの お知らせ

2025年

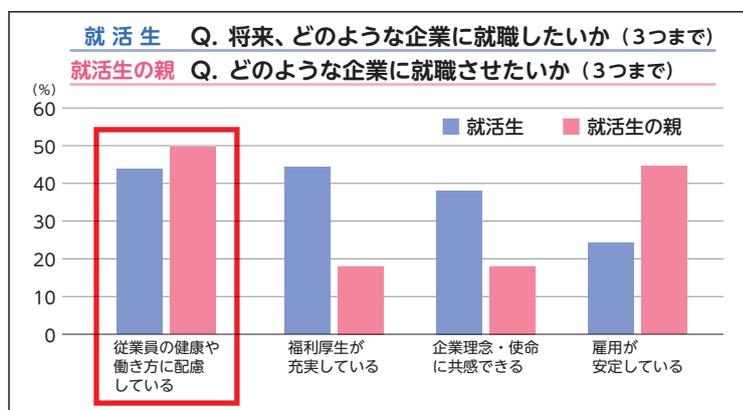
7
月号

職場内で回覧を
お願いいたします

健康経営が注目されています！

近年、少子高齢化による労働人口の減少により、特に中小企業においては、労働力の維持・確保が難しくなっています。そこで今いる従業員に元気で長く働き続けてもらうために、従業員の健康管理を「コスト」ではなく「投資」ととらえる「健康経営」に取り組む事業所さまが増加しています。

健康経営に取り組むメリットとは？



就活生及び就職を控えた学生を持つ親に対するアンケートの結果、「従業員の健康や働き方への配慮」が重視されていることがわかります。

健康経営に取り組むことは、従業員の健康増進につながるだけでなく、新たな人材の獲得や生産性の向上、さらには企業価値の向上にもつながります。

＜経済産業省ヘルスケア産業課「健康経営の推進について（令和4年6月）」より就活生の回答率が多い順に上位4項目を抜粋

健康経営、始めてみませんか？

例年、8月中旬ごろから健康経営優良法人の申し込み受付がスタートします。協会けんぽ山形支部にご加入の事業所さまが中小規模法人部門に申請を行う場合、山形支部で実施する「やまがた健康企業宣言」への登録が必須事項となります。まずは「やまがた健康企業宣言」にご登録いただき、健康経営をスタートさせていきましょう！

健康経営優良法人について
詳しくはこちら ▶▶▶▶▶▶



やまがた健康企業宣言について
詳しくはこちら ▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶



令和7年度 健康経営(糖尿病予防)セミナーのご案内

前号にてお知らせしておりました、健康経営(糖尿病予防)セミナーについて下記日程にて開催が決定しました。「糖尿病予防」をテーマに、県内でも数少ない糖尿病専門医である医療法人 小内医院 院長 小内裕先生よりご講演いただきます。

開催日時 令和7年7月31日(木) 14:00～ (1時間程度)

開催方法 オンライン (Zoom) での開催

詳細は
こちらから



【お問い合わせ先】 企画総務グループ 023-629-7225 (音声案内4番)

健康保険資格喪失(扶養異動)の手続きは遅れないよう、ご注意ください!

Q 手続きが遅れるとどうなる?

マイナ保険証の資格情報は、事業主さまが日本年金機構へ資格喪失届・被扶養者異動届を届け出されることによって記録が更新され、新しい加入記録に切り替わります。

そのため、届け出が遅れると正しい加入記録が反映されない場合があります。

Q 正しい加入記録が反映されないとどうなる?

誤った健康保険の資格で受診したり、薬を受け取ったりすることとなり、協会けんぽの資格のない期間について医療費の返納金が発生する場合があります。

Q 返納金が発生するとどうなる?

被保険者が返納金(総医療費のおよそ7~8割相当)を支払わないといけなくなります。

(被保険者=従業員または元従業員)

資格に変更があった場合は、すみやかに手続きいただくよう引き続きご協力をお願いします。

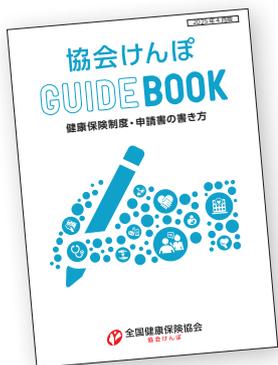
【お問い合わせ先】 レセプトグループ 023-629-7225 (音声案内3番)

登録・年会費
無料!

健康保険委員のご登録はお済みですか?

協会けんぽでは、1事業所につき1名以上、協会けんぽがお知らせする情報や事業について、事業所内での広報・周知にご協力いただける方を、健康保険委員としてご登録いただいております。

ご登録いただいた方には、申請書の書き方や添付書類などまでわかりやすくまとめた「協会けんぽ GUIDE BOOK」をプレゼント!



ご登録方法

- ・記入した登録用紙をFAXいただくだけ!
- ・健康保険の加入者様(お勤めの被保険者)ならどなたでもご登録いただけます。

登録用紙など
詳しくはこちら



健康 コラム

一般社団法人 山形県薬剤師会

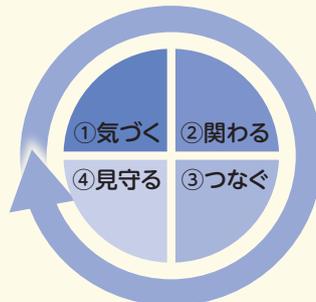
みんなでストップ! オーバードーズ



“オーバードーズ”と聞くと、どのようなイメージでしょうか? オーバードーズとは医薬品を適正量以上に服用することです。急激に大量の医薬品を服用することで意識障害、肝機能障害などの急性中毒を引き起こすことがあります。命に関わる場合や依存症に至るケースもあり、大きな社会問題になっています。オーバードーズに至るには家庭環境や友人関係、経済状況など様々な要因がありますが、その人にとって適切な支援につながるための対応をすることで、オーバードーズを防ぐことができます。

そのような役割をしてくれる人は「ゲートキーパー」と呼ばれ、当事者の悩みに気づき、声掛けや相談に乗ることで関わり、支援してくれるところにつながぎ、そして見守る存在です。

だれでもゲートキーパーになることができ、社会全体に必要な存在です。はじめはお節介と思われるかもしれませんが、みんながゲートキーパーとしての意識を持つことで、未然にオーバードーズをストップすることができます。



厚生労働省「ゲートキーパーとしての薬剤師等の対応マニュアル」より

【お問い合わせ先】 企画総務グループ 023-629-7225 (音声案内4番)